

(10月)

- ・須和間幼稚園 秋季運動会
- ・日本原電 創立50周年「感謝の集い」
- ・第38回 東海村総合体育大会
- ・研修会\_内閣府地方分権改革推進委員会 事務局長
- ・第9回 介護保険推進全国サミット
- ・研修会\_資源エネルギー庁 原子力立地・核燃料サイクル産業課長
- ・村内施設見学 (東海村研究交流プラザ\_工事現場)
- ・原燃工 隣接地区親睦ソフトボール大会

(11月)

- ・東海村文化祭
- ・中丸わいわい祭り
- ・総務委員会\_行政調査
- ・原子力問題調査特別委員会\_行政調査
- ・東海村職員組合 定期大会
- ・中丸地区ふれあいコンサート
- ・村内施設見学(姉妹都市交流会館)
- ・東海村 秋のクリーン作戦

(12月)

- ・12月定例会(12/3～12/15)
- ・第5次総合計画策定委員会 傍聴
- ・J-PARC物質・生命科学実験施設ほか 利用開始合同記念式典
- ・ボランティア市民活動セミナー

● 東海村 秋のクリーン作戦

電機連合の組合員さんのご協力のもと、恒例のクリーン作戦に参加しました。

当日はこの冬一番の冷え込みでしたが、早朝より約50名ものご参加を頂き、須和間地区の里山周辺のゴミを収集しました。

このエリアは東海村の数少ない自然景観のひとつですが、軽トラックが満杯になるほどのゴミを収集し、不法投棄の現状を目の当たりにしました。



「高野まもる」を応援しています

越智たつや後援会は、民主党第4区(東海村、ひたちなか市他)の総支部長としてご活躍中の「高野まもる」氏の活動を応援しています。

皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



～ふるさとを守る 日本を守る～  
高野 守

- 出身地 常陸大宮市(旧美和村)
- 生年 S34年生まれ(49歳)
- 経歴 民主党第4区 総支部長  
三浦杉 吉田八幡神社神主

編集後記

日の出前の早朝から、あちこちで蒸気が立ち上る風物詩がお目見えする季節となった。「ホシイモ」づくりである。

農家のお話では、今年は天候に恵まれたおかげで、芋の大きさ、甘さ共にまずまずの出来だとか。

さて、東海村では「ファーマーズ・マーケット」を建設中。直売所と農業情報発信館との機能を有し、完成すれば県内最大規模の施設となる。本村の「農業の再建」に向けてのお膳立ては揃いつつあり、早期にこの施設を活用する知恵を絞り、行動に移さねばならないが、今年の干支は・・・。

農業を取り巻く環境を考えると、牛のようにのんびりする時間は無い。

VOICE



武長 寛さん(豊白在住)

最近、メタボ、ダイエット運動など健康に関する情報が増えてきており、そこで始めたのが「登山」である。

県内の低山を中心に、少し高い山にも挑戦しているが、頂上に着いた時の達成感はなかなか良いものである。日本百名山に登るのが夢であるが果していつ実現するのやら?

登山には苦しい坂道や楽な平地があるが、越智議員が取り組んでいる種々の課題解決にも通ずるところがあるように思う。

若さを武器に、安心して暮らせる東海村の実現を目指して頑張ってください。

わかば通信

東海村議会議員 越智たつや 議会報告



第4号

H21年1月発行

発行人：越智たつや後援会  
日立市幸町2-13-6  
(日立製作所労働組合 日立支部内)  
TEL 0294(22)3004  
FAX 0294(23)2629

日頃のご支援に感謝申し上げます。

おかげさまで、「越智たつや」は議員活動1年目を終えようとしております。

昨年1月の初当選以降、全ての議会(4回)において一般質問に登壇し、新人として目に映る村の課題や素朴な疑問を一般質問の場で行政側へ投げ掛け、村政運営についての議論を交わしてきました。

本年も引き続き、皆さまの声を行政へ届けるために積極的に行動しますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

謹賀新年



▲原電総連 東海総支部 餅つき大会にて (日本原電 石橋向社宅)

NEWS

～ 東海村の身近なニュースをお伝えします ～

子供の医療費 全額助成制度

医療費の助成方法が変わります

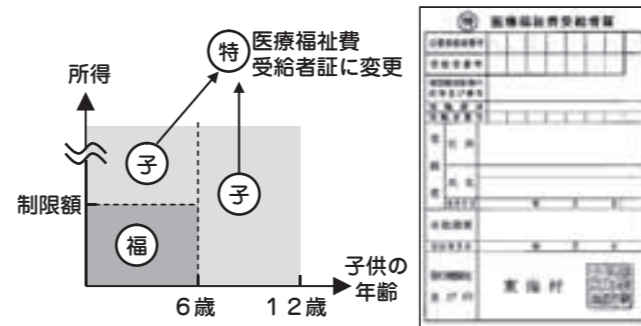
東海村では、茨城県の「医療福祉費支給制度」(マル福)の所得制限で対象外となっている乳幼児、および小学生を対象として、独自に医療費の全額助成を実施しています。

12月定例会において、この助成制度に関連する条例を一部改正し、H21年1月診療分から「医療福祉費受給者証」が変更となり、また、助成方法が従来の「役場にて領収書による償還払い」から「病院にて一部負担金を支払った後に金融機関口座へ

返金」に変更となります。

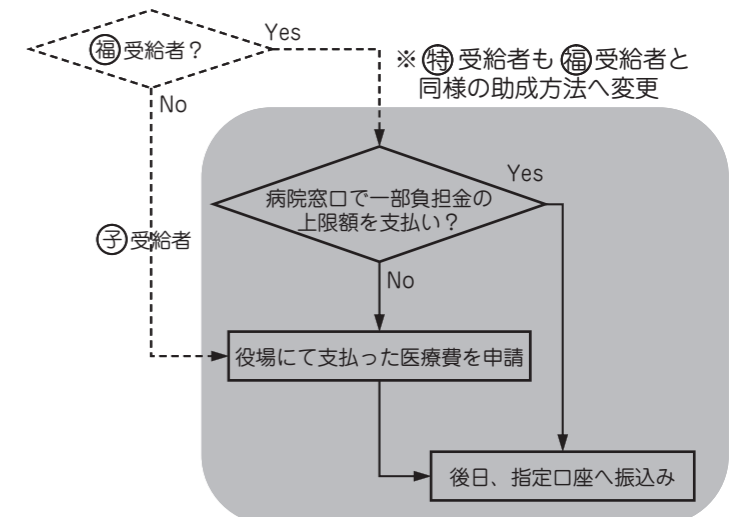
医療費の全額助成は、H21年4月から中学生まで拡大する予定であり、役場職員の事務効率改善と住民サービスの向上を目的として、今回の見直しを実施します。

今後は、原則として病院窓口で一時的な支払いが必要となるため、安易に子供を病院に連れて行く保護者が増えることが懸念されます。



- ① 茨城県の医療福祉費支給制度の受給者
- ② 上記の対象外で 東海村独自の医療福祉費支給制度の受給者

■医療福祉費受給者証の変更について



■医療費助成方法の変更について

## 国民健康保険税・負担割合の見直しを可決

12月定例会が、12月3日～15日までの会期で開催されました。今議会では、議案26件(国民健康保険税の賦課方式の見直しほか)、同意1件(固定資産評価審査委員の選任)、発委2件(教育予算の拡充を求める意見書ほか)が議案として上程され、全て原案のとおり可決されました。

主な条例改正の内容は次のとおりです。

## ▼H20年度補正予算 約5億円の大幅減額

東海PAスマートインターチェンジの設置事業について、県道部分の工事費用については茨城県が負担することになり、これにともなう差金が減額補正の主な要因です。

## ▼国民健康保険税の賦課方式の見直し

個人が保有する固定資産に応じて保険料を負担する割合を廃止し、また応能応益割合についても、国の示す標準割合に近づくと、下記のとおり変更します。

	H20年度		H21年度	
	賦課割合	応能応益割合	賦課割合	応能応益割合
所得割	54.8%	70.5%	61.6%	61.6%
資産割	15.7%		※	
均等割	17.4%	29.5%	24.4%	38.4%
平等割	12.1%		14.0%	

## 子供たちの教育・医療関係を中心に議論



12月10日、子供たちの教育・医療に関する内容を中心に、越智議員が一般質問を行いました。

子供の医療費助成制度については、保護者が間違っ了解釈をして、安易な症状でも医療機関に足を運ぶ「コンビニ受診」が増加すれば、この制度を見直す必要が出てくるとして、制度運営の課題を指摘した内容とのことです。

越智議員の主な質問内容と執行部答弁の抜粋は次のとおりです。

◎村立図書館の増改築に合わせて新しいサービスの導入を

村立図書館の増改築がH22年工事着工に向けて検討が進められているが、計画の概要はどうか？

課題は無いのか？

また、「多目的図書館」へのステップアップとして、例えば「音楽配信サービス」の導入など、新たなサービスの導入を検討してはどうか？

## 【教育次長】

現時点での概要は、①蔵書の拡充 ②子供読書活動支援 ③外国語資料の拡充 ④地域行政、原子力資料コーナーの拡充 ⑤書庫の増設 ⑥ボランティア活動室ほか集会交流スペースの設置、などを計画している。既存建物(1500m<sup>2</sup>)に1500m<sup>2</sup>を増築して合計約3000m<sup>2</sup>規模とし、H20年度基本設計、H21年度実施設計、H22年度より建築工事で進める予定であった。

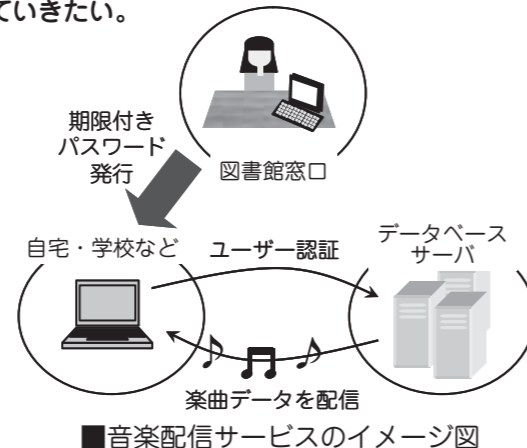
しかし、今回の規模の増築には、既存部分が現在の建築基準法に適合しているかの判定が必要となった。今



後、適合判断の結果を踏まえ、増改築の方向付けを決めていく。

また、図書館の増改築計画を契機として、蔵書の拡充はもとよりデジタル資料、各種データベースの導入や

提案の「音楽配信サービス」の導入についても、検討していきたい。

◎学校給食を題材とした食育事業のさらなる強化・充実を

学校給食において、地場産食材を提供している生産者と子供たちとの距離を近づける取り組みは重要であるが、本村での取り組みはどうか？

また、急速に変化する社会環境において、「学校給食」は大きな様変わりすることなく、その形が残されており、食育を推進するうえで大きな役割を果たす存在である。「学校給食」を題材として、食育に繋がる様々な事業を積極的に展開してはどうか？



## 【教育長】

生産者と児童・生徒との関わりとして、小学校において、生産者を学校に招いて給食で使用する食材の栽培方法や収穫するまでの苦労話を聞く機会を設けている。

また、JA職員や地域の方を招いて、稲刈りなど農作業体験の指導を頂いたり、給食だよりに生産者からのメッセージを掲載して、自分たちが食べる物への知識と理解を深めながら、学校・家庭・地域が連携して食育の啓発推進を図っている。

今後も生産者と児童生徒の相互交流と理解を深め、それを通して食べ物や食文化を作っている人への感謝の心を育てていきたい。

◎新型インフルエンザ対策に関して役場全体での議論を開始すべき

村民に対して、新型インフルエンザの理解を深めることや、感染しないような予防対策に努めるよう周知することも重要である。

しかし、保健衛生部門だけの範疇ではなく、役場全体として課題を抽出するなど、具体的な議論に発展させる必要があるのでは？

## 【村長】

新型インフルエンザが実際に日本に上陸して蔓延し始めると、これは「非常事態宣言」であり、自治体としてどのように対応す



会議録詳細は、東海村議会ホームページでご覧下さい。

<http://www.vill.tokai.ibaraki.jp/gikai/>

るかについては、総理大臣以下、関係大臣や全国の知事、そして市町村長が責任を持って対応することが必要である。しかし、現時点では国や茨城県からは、こういうことをやれ、こういう体制を組め、という説明が全く無いため、危機管理ができない。一方で、テレビや新聞が大騒ぎしている、という不思議な状況である。

東海村としては、はっきり言って専門的知識が無いので、今のところ、国あるいは県は何を言ってくるのか、を待っている。今後は、県の市町村長が会合する際、県知事に対しても、村としての要望を申し上げていく。

◎子供の医療費助成制度は適正に運用されているか

4月から実施した小学生の医療費無料化について、病院の窓口が混雑してきた等の影響は無いのか？

また、医療費助成制度は、軽度な症状でも簡単に病院に足を運ぶ「コンビニ受診」を助長するとの指摘がある。保護者の方が間違っ了解釈をして、適正な制度運用が成されなければ、制度にメスを入れる必要がある。

この制度を持続可能なものにするためにも、保護者への啓発や子供たちの健康増進を並行して実施すべきではないか？



## 【福祉部長】

予算の作成において、過去のデータが無いので、小学校前の乳幼児の平均医療費から算定し約1億円を計上した。5・6月分までの請求における予算の執行状況は約10%程度で

あり、今後申請の状況を見守っていきたい。

また、医療機関への影響は受診医療機関が広域に渡っていることから、窓口の急激な混雑等は聞いていない。学校を休んだり、親が同伴して病院に行くので、単純には増えないと考えている。

保護者に対する啓発や子供に対する健康増進を図る施策は大変重要な要素だと認識しており、保健センターにて保護者を対象とした子供疾病予防講演会、親子健康づくり教室、赤ちゃん教室などを開催している。